

【施設状況】

グループ名称	障害者福祉施設栗田園								
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会					法人番号	5100005001689		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1421	栗田園							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	02	利用料金制
施設概要	作業室4、静養室3、相談室、更衣室2、職員室、事務室								
施設設置目的	障害者に対し、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、及び就労の機会を提供し、並びに障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練を行うことにより、障害者及び障害児の福祉の増進を図ることを目的とする。								
基本方針等	利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援に努めるとともに、地域や家族との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、居宅支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携を図る。 また、生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の心身の状況、意向、障害の特性を考慮する。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援B型事業</li> <li>・放課後等デイサービス事業</li> </ul>								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない</li> <li>・管理運営の一部において、市の指導が必要</li> </ul>
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定、事業計画が全て実施されない</li> <li>・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要</li> <li>・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない</li> </ul>

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会			指定回数	3 回	
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	就労移行支援 栗田園	人	5	4	4	—	#VALUE!	
	就労継続支援B型 栗田園	人	23	28	28	33	116%	
	放課後等デイサービス 栗田園	人	7	9	9	7	77%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) ・利用状況は、日平均 就労移行支援は平成30年度末で事業を廃止 定員は令和元年度より36名に増員 就労継続支援B型の								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援法第5条第14項に規定する就労継続支援B型の実施に関する業務</li> <li>児童福祉法第6条の2の2第4項に規定する放課後等デイサービスの実施に関する業務</li> <li>施設及び設備の維持管理に関する業務</li> </ul>						
	自主事業							
サービス維持・向上の取組み (広報等)	・通所施設ガイドブック、WAMネット及びホームページ等に事業所の情報を掲載している。							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者会議等</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 日々の利用者個々の話の傾聴を基本とし、利用者会議や家族会への出席、個別支援計画の作成に合わせた面接、昼食を一緒にとるなどの機会を利用し、本人や家族に対する聞き取り調査を行い、利用者の要望把握に努めている。</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 調査結果を利用者の個別支援計画や目標設定の参考とし、個々の適性に合った支援に結びつくようにしている。</p>	
利用者からの評価・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 ・利用者や保護者の方の意見・相談に対する傾聴を重視し、作業支援のみならず日常生活支援に力を入れていて、利用者や保護者の方からも期待以上の評価を得ている。 ・就労継続B型については、きめ細かな生活・相談支援を行っていること及び近接地にある「ななせ仲まち園」や「にじいろキッズらいふ」とも連携体制をとっていることにより、利用希望者等からも高い評価を受け、利用率が増加している。 ・放課後等デイサービスについては、個々の適性に合った支援に力を入れているため、保護者の方からも評価を得ている。</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 ・同じ作業を続けていると飽きてしまうので、違う作業もしたい。</p> <p>《対応措置》 ・ニーズや適性を考慮しながら、様々な作業に関われるよう配慮した。また、前年度から導入したリサイクル作業(パチンコ台の解体)が軌道に乗り、大勢の利用者が従事できるようになった。</p>		

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入		歳入		歳入		歳入		
	利用料金	2,917,000	利用料金	1,085,461	使用料		使用料		
	指定管理料		指定管理料		雑(納付金)		雑(納付金)		
	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		
	販売収入等	10,546,000	販売収入等	12,360,390	貸付料		貸付料		
	その他収入	68,000	その他収入	28,777	その他		その他		
	自立支援給付	70,607,000	自立支援給付	66,993,505	国県支出金	50,216,429	国県支出金	52,278,201	
	計	84,138,000	計	80,468,133	計	50,216,429	計	52,278,201	
	人件費	75,128,000	人件費	65,436,069	指定管理料		指定管理料		
	設備管理費	2,680,000	設備管理費	2,090,257	委託料		委託料		
	備品購入費	246,000	備品購入費	111,837	需用費		需用費		
	修繕費	352,000	修繕費	59,398	役務費		役務費		
	光熱水費	1,069,000	光熱水費	1,028,577	使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	11,652,000	事業費	12,563,881	修繕費		修繕費		
	事務経費	2,522,000	事務経費	1,422,412	歳出	558,800	工事請負費	69,704,268	
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
	その他		その他		その他		その他		
					扶助費	66,955,238	扶助費	69,704,268	
	計	93,649,000	計	82,712,431	計	67,514,038	計	69,704,268	
自主事業	収入		収入						
自主事業	支出		支出						
自主事業	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		-9,511,000		-2,244,298	差引	-17,297,609		-17,426,067	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								79.1%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 就労継続支援B型 12人(12) 放課後等デイサービス 8人(8)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、  
評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3
協定内容・指定管理者提案 追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・地域と連携しての防火訓練を実施した。 ・行事の際、昼食の弁当等を障害者就労施設に発注した。 ・職員は市内在住者を雇用している。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価 
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
<b>合計得点</b>			

評価理由	施設の目的及び基本方針に適合した運営を行っており、苦情や事故もなく利用者に対して利用者の立場に立った安定したサービスが提供されている。また、家族や保護者、地元住民とも協力・連携をとりながら事業が実施された。 利用者評価の面では、利用者及び保護者の方の傾聴を基本とした日常生活支援に力を入れ、利用者側からも期待以上の評価の実態が確認できたため、評価を4とした。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	・一般就労へ向けた支援(作業訓練)の充実をはかるとともに就労の定着に向けた支援を行う	ななせ仲間園等とも連携して、利用者のニーズに合致したサービスが提供できている	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	引き続き、安定したサービスの提供に努める。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・就労系事業については、既存の作業種目に加え前年度に導入したパチンコ台の解体作業が軌道に乗り、大勢の利用者が従事できるように努めた。
- ・就労系の看板事業である印刷において、利用者主体の作業となるよう担当利用者の育成に努めた。
- ・十分なアセスメントに基づいた、きめ細かな個別支援計画を作成し、利用者及び家族のニーズや意向に沿ったサービスの提供となるよう努めた。
- ・利用者との連絡会及び家族との懇談会の開催並びに日々の傾聴支援の実施により、様々な意見や要望等を施設運営に活かすよう努めた。
- ・同種の事業を行っている法人内の就労系事業所との連携を深め、就労支援の強化に努めた。
- ・卒業後の進路の選択肢の一つとなるよう、夏休み期間中に放課後等デイサービス利用者を対象に、就労系事業所でのお仕事体験を実施した。
- ・前年度に実施した、行動障害の理解と支援に関わる事例カンファレンスの振り返り研修会を通し、支援力の向上に努めた。
- ・放課後等デイサービス事業については、支援内容のバリエーションを拡充するために外部講師による研修を通し、一体的な事業展開を図った。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・全職種が協働体制を取り、人件費の削減等に努めた。
- ・ななせ仲まち園を中心に、法人内の就労移行、就労継続支援B型及び放課後等デイサービス事業所と連携し、一体的な事業展開を図った。
- ・事業所内の会議時間の短縮等を行い、時間外勤務の縮小に努めた。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・施設の老朽化が進み、特に旧愛の樹園棟の屋根・外壁の劣化が進行している。
- ・耐震診断を含め耐震対策が未実施である。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・利用率について、目標に設定した90%を若干ではあるが上回った点。
- ・大勢の利用者が従事できるリサイクル作業が軌道に乗った点。
- ・利用者1名が一般就労に繋がった点。

② 次年度以降の取組み

- ・新型コロナウイルスの感染拡大があり、先行き不透明ではあるが、就労系事業に関しては、引き続き印刷事業を柱としながら、利用者が主体となって取り組める作業種目数を増やし、魅力ある事業所作りを目指す。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大があり、先行き不透明ではあるが、放課後等デイサービスについては、にじいろキッズらいふ及びにじいろキッズらいふ若里東との協働体制を維持し、車両の入れ替えによる送迎体制の強化と併せて、利用率の向上を目指す。